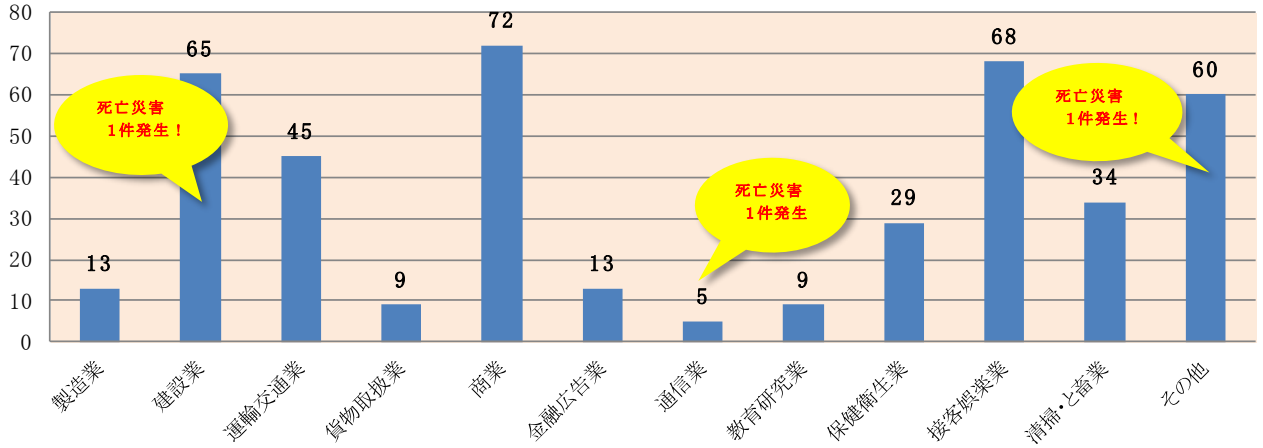


平成30年 労働災害発生状況

休業4日以上 計 422件(死亡3件)

(件)



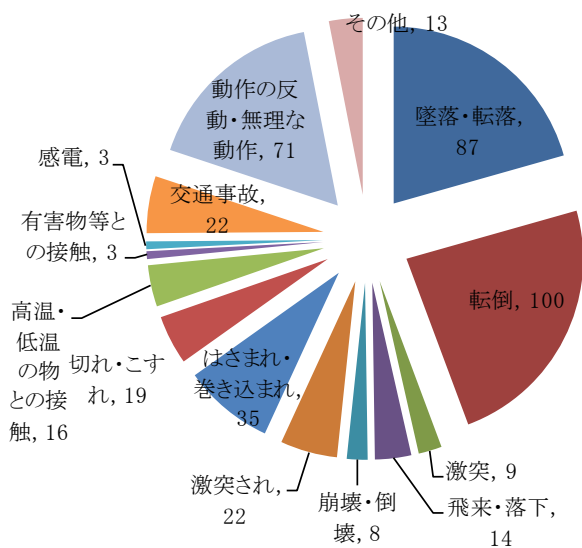
平成30年に発生した休業4日以上の死傷災害は422件で、前年比で1.2%増加しました。業種別にみると、商業が72件(17.1%)と最も多く、次いで接客娯楽業が68件(16.1%)と続きます。また、死亡災害は、建設業において1件、通信業において1件、その他の事業において1件発生しています。

[死亡災害事例]

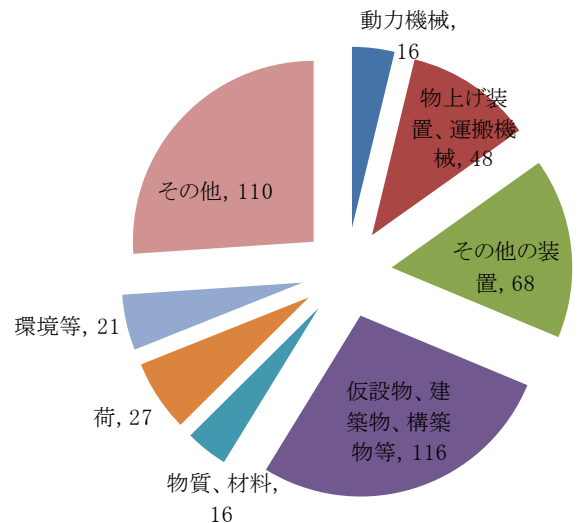
- ①被災者は、既設の外部階段を使用し、屋上から荷物の運び出し作業を行っていたところ、当該階段の踏板が抜け、地上まで墜落した。(建設業)
- ②被災者は、バイクに乗り配達作業中、ガードレールに接触し、電柱に衝突した。(通信業)
- ③被災者は、顧客先へ向かうため歩道を移動中、歩道脇のビル屋上から脱落した金属製の外装パネルが激突した。(その他の事業)

事故の型では、転倒・墜落・転落、動作の反動・無理な動作の順となっています。起因物では、仮設物・建築物・構築物等(足場・階段・建築物等)、その他、その他の装置(手工具、はしご、脚立等)の順となっています。

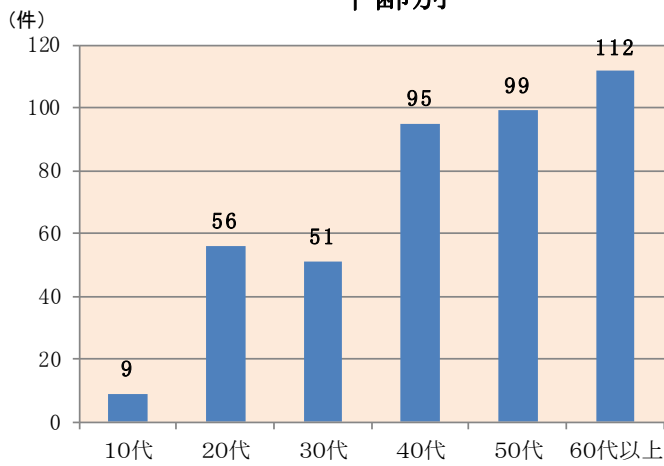
事故の型別



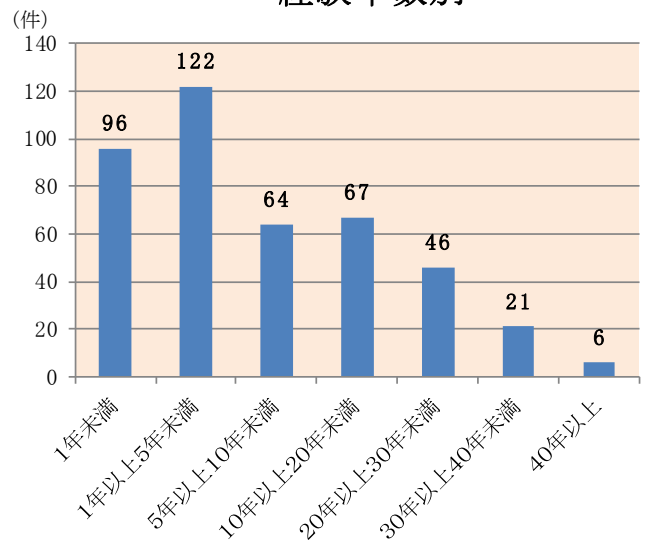
起因物別



年齢別

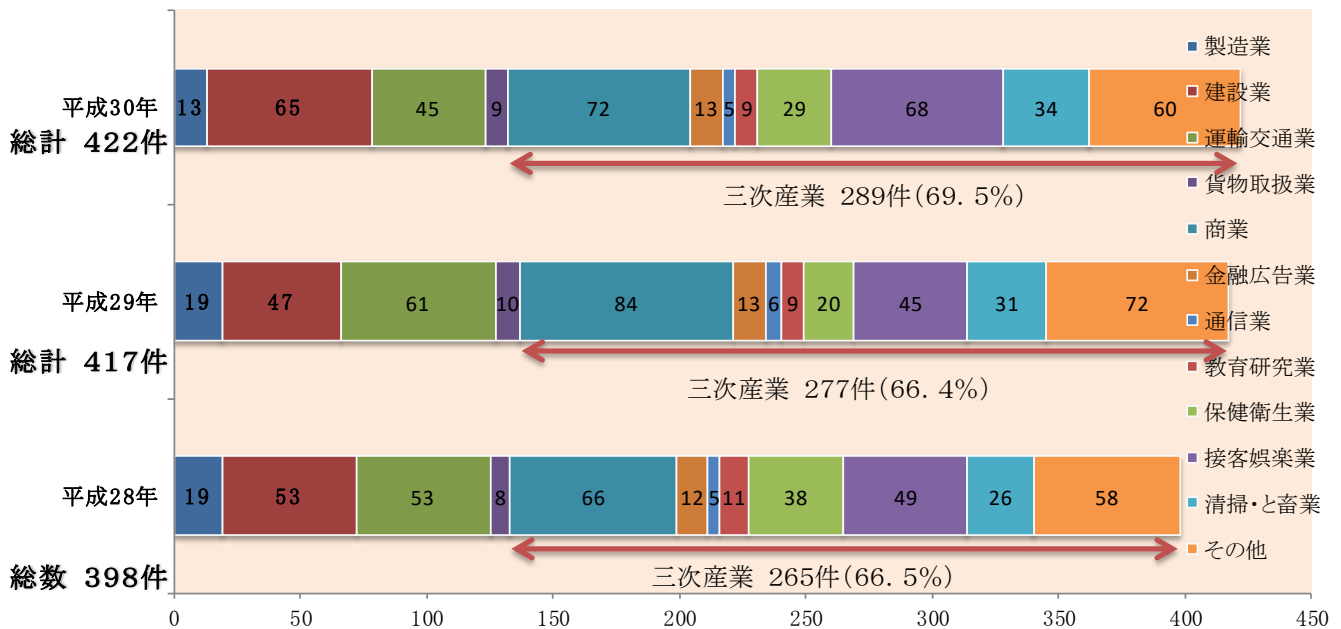


経験年数別



年齢別では、40歳代以上の中高年労働者が306件で全体の72.5%を占めています。
経験年数別では、5年未満の労働者が218件で全体の51.7%を占めています。

過去3年間の労働災害発生状況



平成29年は前年比19件増加(4.8%増)の417件でしたが、平成30年は前年比5件増加(1.2%増)の422件となりました。

業種別にみると、過去3年間とも商業が最も多く発生しており、商業を含む三次産業が全体に占める割合は過去3年間、ほぼ同水準で推移しています。